

# 隼工新聞

学校活動  
紹介通信  
2019  
7月号

## 春季始良伊佐 地区体育大会 優勝報告



五月八日から行われた始良伊佐地区体育大会で男子ソフトテニスと弓道女子団体が見事団体優勝を飾りました。



ソフトテニス男子団体

## 第十八回高校生ものづくり コンテスト鹿児島県大会

六月八日、高校生ものづくりコンテストが開催されました。旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立など八部門で競技が行われ、本校からは三部門に三名の選手が出場し、家具工芸部門に出場した榎我空人君（インテリア科三年）が優秀賞を受賞しました。



## 公務員説明会

五月三十一日に全年の公務員希望者を対象に説明会が開催されました。仕事内容や採用試験、求められる資質について説明されました。参加した生徒は、進路に関して深く考えるいい機会になったと充実した様子でした。



## 説明をしていただいた関係機関

- ・ 自衛隊鹿児島地方協力本部
- ・ 国分地域事務局
- ・ 鹿児島県警察本部霧島警察署
- ・ 霧島市消防局
- ・ 加治木税務署
- ・ 第十管区海上保安部鹿児島航空基地

## 避難訓練

五月十八日、今年度第一回の避難訓練が行われました。今回は地震発生後に家庭科室で火災が発生したという設定で避難行動訓練を行いました。真剣に取り組んでいました。



## 命の大切さを学ぶ教室

五月二十三日、「命の大切さを学ぶ教室」が全校生徒を対象に開催されました。講師に今村公洋様

を迎えて、犯罪被害者やその家族がどのような経験をされたかを講話していただきました。

## PTA総会

五月二十四日、今年度のPTA総会が開催されました。全体会では前年度の会計等報告や今年度の活動計画等が示されました。同月三十一日には二次総会も実施されました。



## 生徒のこぼれ

### 「弓道を通して」

インテリア科三年 楠木あみ  
兄に憧れて弓道を始め、今年で六年になりました。その中でも高校生での弓道生活は、私にとって忘れることのできない日々となりました。スランプに陥ったり、人間関係に悩んだり、学校と部活の両立がうまくできず苦しんだり、様々ありましたが、三年間インターハイに行きたい、あの舞台で弓を引きたいという思いで毎日練習しました。

二年生の時に出場した県高校総体では、団体三位という結果に終わり、九州総体まであと一歩だったので、「今年こそ」と思いながら、最後の県高校総体に臨みました。しかし、結果は予選落ちで八強に残ることすらできませんでした。予選通過まであと一本でした。

補欠がおらず、調子が良くても悪くても自分しかいないという危機感に駆られ、最後の大会になるかもしれないという焦りもあり、なかなか集中して練習することができなかつたのが結果に繋がったのかなど、私は思っています。でも、結果以上に大事な仲間の大切さを最後の大会で改めて感じました。負けてみんなで泣いて、三年間頑張ったねと、お互いの健闘を讃え合い、最後まで団体戦に出場できたことに感謝の気持ちで一杯になりました。負けたからこそ、その大切さを強く実感しました。同時に、技術面でも精神面でもたくさんの方のアドバイスを教えてくださった先生方、日頃から応援し、支えてくれた両親に感謝の気持ちが尽きません。

弓道を通して学んだことを大切に、これからも頑張っていきたいです。私は、弓道に出会えて今の仲間と弓を引くことができ、本当に良かったです。

## 学校の旬を伝える

隼工新聞

制作：教務部広報渉外係

## 【隼人工業高校の学校ルール・マナーシリーズ①】

- 一、 頭髪服装検査は毎月行われます。基準は「今すぐ受験に行ける姿」です。普段から意識しましょう。
- 一、 進路指導室を中心に来客が多くなります。挨拶をしっかりとしましょう。進路指導室前は静かに通行。